第５回　市民活動団体交流会　報告書

日　時　平成２８年２月１３日（土）12:30～15:50
場　所　丸子ふれあいステーション　３階会議室

平成２７年度　第１１回　丸子地域協議会

平成 27 年度市民活動団体交流会　次第

（平成 27 年度わがまち魅力アップ応援事業実績報告会）

開場　　12:30

パネル展示発表開始　（自由閲覧）

開会　（実行委員会副座長）

あいさつ　（丸子地域協議会会長／交流会実行委員会座長）

平成 27 年魅力アップ応援事業報告会（全 21 団体／1 団体 5 分以内のポイント発表）

【実施報告団体（H27 補助金受給団体）】（発表順）

＜平成 27 年新規団体＞

①中丸子自治会下組分会

②信州じゃ～麺研究委員会

③ふれあい広場の会

④まるこベルシティまつり実行委員会

⑤信州国際音楽村公園バラの会

＜実施継続団体＞

⑥霊泉寺温泉自然 JUKU ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ Team 若女将

⑦丸子太鼓保存会

⑧中丸子やまびこ会

⑨下長瀬自治会

⑩地域で英語！ともだち英語の会

⑪ゆうあいまるこ

休憩　（5 分間）

⑫内村っ娘の会

⑬鹿教湯温泉観光協会

⑭鹿教湯温泉 100 年ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ創造ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ

⑮箱山城･桜ロードの会

⑯「世界のレンゲツツジ園」の会

⑰腰越自治会

⑱下和子素浪人の会

⑲鹿教湯商工会

⑳尾野山史跡めぐり協議会

21 石井樹木を守る会

質疑･応答

休憩　（10 分間）

テーブルごとの討議

※それぞれの団体の活動が地域の中でどのように活かされているか、どのように定着をさせていくか、あるいは地域との関わりをいかに見つけていくかなどについて自由討議

テーブル発表　（テーブルリーダー）

まとめ･総括　（交流会実行委員会座長）

閉会　（交流会実行委員会副座長）　15:50

第５回　市民活動団体交流会　参加団体名簿

	団体名	応援事業 採択年度	報告団体	参加者数
1	上田飯沼史学会	20 年度		1
2	狐塚自治会	23 年度		2
3	霊泉寺温泉自然 JUKU ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ Team 若女将	24 年度	○	1
4	丸子太鼓保存会	24 年度	○	2
5	中丸子やまびこ会	25 年度	○	2
6	下長瀬自治会	25 年度	○	1
7	地域で英語！ともだち英語の会	25 年度	○	1
8	ゆうあいまるこ	25 年度	○	1
9	内村っ娘の会	25 年度	○	2
10	鹿教湯温泉観光協会	25 年度	○	1
11	鹿教湯温泉 100 年ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ創造ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ	25 年度	○	2
12	箱山城・桜ロードの会	25 年度	○	3
13	世界のレンゲツツジ園の会	25 年度	○	1
14	腰越自治会	26 年度	○	2
15	下和子素浪人の会	26 年度	○	4
16	鹿教湯商工会	26 年度	○	2
17	尾野山史跡めぐり協議会	26 年度	○	3
18	石井樹木を守る会	26 年度	○	1
19	中丸子自治会下組分会	27 年度	○	1
20	信州じゃ～麺研究委員会	27 年度	○	2
21	ふれあい広場の会	27 年度	○	3
22	まるこベルシティまつり実行委員会	27 年度	○	2
23	信州国際音楽村公園バラの会	27 年度	○	3
23	その他（個人参加・傍聴）　長野大学学生・市議			6
24	丸子地域協議会委員　（重複１名）			14
25	丸子地域協議会事務局職員			6
	計	（重複者１名のぞく）		68

ごあいさつ

＜丸子地域協議会　斎藤重一郎会長＞

皆さん、こんにちは。平成 27 年度市民活動団体交流会並びにわがまち魅力アップ応援事業の実績報告会として開催しましたところ、大変お忙しい中、大勢の皆さんにご出席いただきまして本当にありがとうございます。

常日頃から、地域づくり、また、地域の活性化に向けて先頭に立って活躍されている皆様方に対しまして、心から感謝を申し上げる次第でございます。

昨年、丸子地域では、上田市のモデル地域として、地域内分権の推進に向けまして、丸子まちづくり会議準備会が立ち上がりました。1 年間会議を重ねて参っているところでございます。いよいよ、今年の 3 月、丸子地域での新しい組織が立ち上がります。既にご存知かとは思いますが、2 月の 18 日から、西内地区を皮切りにタウンミーティングが始まるわけです。各地区 5 箇所で行われます。本日、ご参加の皆様方には、是非、この会合に参加いただきまして、これからの地域づくりに対するご意見をお出しいただき、今まで以上に地域づくりへご協力、またご活躍いただきますよう、今回の交流会がまちづくりの新しいスタートになってくれることを心からご期待を申し上げまして、また、皆様のご健康と益々のご活躍をご祈念申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日はお忙しいところ、大変ご苦労様でございます。

＜第 5 回丸子地域協議会交流会実行委員会　池田佐代子座長＞

みなさん、あらためましてこんにちは。今日は曇り空ですが、何か春の気配が感じられる暖かい日で本当に良かったと思います。本日の座長を努めさせていただきます池田佐代子と申します。どうぞよろしくお願いします。

平成 20 年よりスタートいたしましたわがまち魅力アップ応援事業も、今年で 9 年目を迎えます。これまで 47 もの団体が熱い思いで応募し、仲間を集い、創意工夫して、元気で住みよいまちづくりに励んでこられました。また、鳥獣被害を逆手に取り、ピンチをチャンスにと、クッキングコンテストに出場して、地域食材で全国に名を知らしめるという偉業を成し遂げたグループもありました。

今年も 5 団体が新規に加わり、従来の伝統行事で市民のまちづくりに向けた協働の機運を高めるなど、新しい分野にも挑戦しています。本当に本日の発表が楽しみです。

そして、今日ここにいらっしゃる皆さまお一人おひとりがまちづくりの主役です。テーブルミーテイングでは、皆さんの日頃の想いや活動が地域の中でどのように活かされているか、どう定着させていくか、あるいは地域とのかかわりをどのように進めていくかなど、まちづくりについて忌憚の無い意見をお願いいたします。

この交流会も 5 回目を迎えます。活動の実績発表の場から情報交換の場へ、そしてノウハウ

を互いに共有しつつ、地域に根をはり裾野を拡げるための「組織連携の模索の場へ」と、着実に実績を上げています。

テーブルリーダーの地域協議会の皆さんも、市民活動団体の皆様の応援団であり、同志です。

また、丸子テレビさんにおかれましては、皆さんの活動の一部始終を地域の皆様に知っていただこうと、本日はずっと撮影をしていただきます。

そして、この会場には、温かい飲み物や、とんぼはうすさんの手作りクッキーも用意されています。この交流会が、気のあった者が屈託のない和やかなときを過ごされるように、事務局はじめ実行委員が数ヶ月前より準備をして参りました。

それでは、皆さん、今日はどうぞよろしくお願いします。

＜平成 27 年度わがまち魅力アップ応援事業報告会＞

平成 27 年わがまち魅力アップ応援事業補助金受給団体全 21 団体が、つぎの順番にて、事業の進捗状況やポイント、PR したいことなどを、1 団体 5 分以内のプレゼンテーション方式により報告しました。

この実績報告会は、市民の補助金事業について、それぞれの市民活動団体が市民に直接その実績や事業の進み具合を報告する機会を兼ねています。

※ 報告詳細は、別冊の報告書の「平成 27 年度丸子地域わがまち魅力アップ応援事業実績報告書」を参照

＜平成 27 年新規団体＞

① 中丸子自治会下組分会【ベルシティ地域交流（りんご祭り）事業】

②信州じゃ～麺研究委員会【信州じゃ～麺で地域活性化事業】

③ふれあい広場の会【ふれあい広場づくり事業】

④まるこベルシティまつり実行委員会【まるこベルシティまつり】

⑤信州国際音楽村公園バラの会【信州国際音楽村公園花壇整備事業】

＜実施継続団体＞

⑥霊泉寺温泉ＪＵＫＵプロジェクトＴｅａｍ若女将【情緒あふれる霊泉寺地区の魅力アップ＆地域がつながる連携創出事業】

⑦丸子太鼓保存会【和太鼓の里　鹿教湯温泉推進事業】

⑧中丸子やまびこ会【中丸子親水広場整備事業】

⑨下長瀬自治会【下長瀬のウォーキングコースの整備事業】

⑩地域で英語！ともだち英語の会【地域で育てよう！未来の国際人（英語のできる子どもたち）】

⑪ゆうあいまるこ【共生のできる地域づくり】

⑫内村っ娘の会【郷土料理を通じた内村地域住民の交流事業】

⑬鹿教湯温泉観光協会【鹿教湯温泉　花と緑のホスピタリティ】

⑭鹿教湯温泉１００年ブランド創造プロジェクト【産学連携　病院と温泉がある、特色ある地域づくり事業】

⑮箱山城・桜ロードの会【箱山城周辺里山整備事業】
⑯「世界のレンゲツツジ園」の会【鹿教湯温泉「世界のレンゲツツジ園」整備事業】
⑰腰越自治会【腰越馬坂橋サクラ堤防保存】
⑱下和子素浪人の会【地域の史跡整備と伝承】
⑲鹿教湯商工会【鹿教湯里山セラピー公園活性化事業】
⑳尾野山史跡めぐり協議会【尾野山史跡めぐり遊歩道の整備】
21 石井樹木を守る会【石井自治会内の樹木の保存と育成事業】

＜ご質問・ご意見＞

市民活動団体のプレゼンテーションを聞いてのご質問をいただきました。

ご質問）ジビエ研究の関係ですが、地元に解体場所がない。県でも地域でもジビエを推奨しているけれど、近くに解体場所がないので有効活用が出来ない状況と思われるが。出来れば本日ご参加の皆様には、そういった話が盛り上がった際には、地元がそういった施設を必要としていることをご理解いただき、ご協力をいただきたい。武石や長門、内村にしろ鹿の害があり、猟友会の方がとってくださるけれど、その処分はほとんどが廃棄処分されているという現状がある。それを活かすには、まず解体場所がないことがジビエが振興していかない原因と思われる。是非、ご理解とご協力を願いたい。（鹿教湯温泉観光協会の方）

副座長）ご意見としてお伺いしておきます。

ご質問）わがまち魅力アップ応援事業のマップが欲しい。次回は作成願いたい。今、石井樹木の会の発表の「ケヤキ」の場所が知りたいと思った。

副座長）なるべくそういったものが作成できるようにお願いしたい。

委員）マップの話も出たが、去年、連携できる団体は連携していくようにと、「連携準備会」を立ち上げていただいたが、マップやパンフレット作成も新しい事業として、どのように発展させていくのがいいのかということについてちょっとご報告いただければと思う。

連携準備会発起人）昨年、第 4 回の市民活動団体交流会の際に、点でなくて線、それから面になるように各団体が連携しようという方向性が出た。それで、私がその音頭をとって、昨年 6 月に連携準備会をもった。実際には 11 団体の皆様の参加で交流会をもった。その中では、任意の団体で行う場合には、必要性は皆感じてはいるのだが、なかなか定期的にやっていくには難しい。昨年は緩やかに連携したらどうかという段階で終わった。本日はこのように大勢の方がお集まりなので、また再構築してみるのもよいのか。4 月からは「まちづくり会議」が発足する準備を行政が進めている。そういった団体とタイアップしながら、出来れば点から線へ、面へなって、いろいろな団体と交流できればと思う。

事務局）先ほどの、わがまち魅力アップ応援事業のマップについて、以前は提供されていました。団体数が増えるにつれて、1 枚の中に書き込んでいくのが技術的に困難になり、昨年から提供できなくなった。今後また作成の研究をして参りたい。

委員）鹿教湯温泉の足湯について、利用して大変気持ちがよかったと思う。ただ、足をぬらした後に拭くタオルを用意いただけたらすばらしい。足湯の近くには観光協会の事務所もあると思うが、そういった場所で足拭きタオルを販売いただけないのかと思う。タオルの自販機を設置す

るのはどうか。ついでに、六文銭の絵柄のタオルだったら、観光ＰＲ的にもさらによい。

参加者：鹿教湯温泉 100 年ブランド創造プロジェクト代表）ご提案ありがとうございました。実は、かねてから足拭きについては検討課題であった。販売というよりは、置いておいて自由にお使いいただくことを念頭にしていた。衛生管理の問題とか、予算上の問題点から実施には至っていなかったが、販売でも可能なら検討してみたい。販売機を置くことになると、市から借地料をとるようにとの指示が出るかもしれないので、事務所で販売する方向で考えてみたい。

ご質問）私たちの活動の中で、箱山城の周遊コースの散策路を昨年整備した。問題点として、資金的な不足がある。松などの枯れ木、倒れそうな樹木が非常に多い。市有林や中丸子の区有林の場所なのですが、多すぎてとても私たちでは手に負えない。散策をお薦めしたくても、安全上の問題からも、積極的に推奨して事故が起きたらという懸念がある。そのような条件下で、お金をかけずに枯れた樹木を整備いただく方法はないか、アドバイスをお願いしたい。（箱山城・桜ロードの会の方）

事務局）お金のかからない処理方法とのことだが、直ちにはいい方法が思いつかない。行政貸出しのチップシュレッダーによりマルチング材としての利用くらいか。

参加者）内村でも松枯れがひどく、どうしたいいかという問題が出ている。箱山城の周辺に広い場所があれば、森林組合が所有しているチップ化の機械を借りて処理したらどうか。結構太い木も処理できると思う。

また、県が導入するチップ化の機械のデモンストレーションに、丸子地域でも応募してみたらどうか。

質問者）枯れた木を倒したいというのが、今の一番の懸案。何か、無料のいい方法はあるか。倒木が困難。

事務局）調べてはみるが、難しいと思う。

＜テーブルごとの討議・発表＞

ご自身の団体の活動について、あるいは先ほどの発表について、テーブルごと自由に、ざっくばらんに討議を行いました。あわせて、それぞれの団体の活動が地域の中でどのように活かされているか、どのように定着をさせていくか、あるいは地域との関わりをいかに見つけていくか等についても自由に意見交換を行いました。

【第１テーブル発表】

・地域にはいろいろな文化財がある。その保存について、いい知恵はないかとの発言があった。

・文化財補助金、指定文化財だと上限が 300 万円の補助があるが、それ以外の文化財も保存をしていきたいという意見。どのようにしていったらいいのか。

・丸子地域協議会では、昨年文化財の補助金の増額の意見書を提出してある。

・事業同志の交流を深めていくようなことはやっていきたいが、実際のところは自分たちの団体の事業だけで手一杯の状況。ただ、お祭りなどのときに、いろいろな団体が協力し合っていくことで盛り上がってはいくという意見。

・以前に、わがまち魅力アップ応援事業の補助金を活用して事業をしてきたが、あとの継続性を考えると、どうなっていくのか。自治会の負担になってしまうのか。今後たちあがる丸子まちづくり会議のひとつのテーマに取上げていただけたらいいと思う。

以上のような意見が出されました。

【第２テーブル発表】

・魅力アップ応援事業では、農業関連の申請がない。農業に関しての応募がもっとあってもいい。制度のＰＲをもっとして欲しいとの意見。地域の特産品や食材など、もっと発信していろいろな観光地や温泉場で、地元の食材を使った料理などを発信してＰＲしてもいいという意見。

・地元で活動する団体が多いと思うが、他の地域、たとえば長野大学の学生であるとか、修学館高校の生徒、外国の方々などの意見を聞くことによって、新たな発想が生まれる。気が付かなかったところに着目した意見が得られるのではないか。

・ベルシティまつりなどの祭りの場を活用した、団体の発表の場をつくってもいいのではないか。

・「真田丸」に合わせ、丸子表合戦の跡地という歴史もあり、地域の皆さんが歴史家を招いて勉強したり、訪客に説明したり、真田丸に併せたＰＲ活動、魅力を広げていくのがいい。

・それぞれの団体の改良すべき点を知って、新しいものをどんどん取り入れていく。地域の魅力、自分達の魅力を発信する場所をもっと広げていくべき。

以上のような意見が出されました。

【第３テーブル発表】

・松くい虫被害の費用の工面についてどうしたらいいか。基本的には空中散布がいい。片付けは地権者の自助努力しかない。森林組合で、３０ヘクタール以上まとめてあると補助があるらしいとの発言もあった。

・松くい虫被害の木を倒すには、ねじれて倒れるので危険。箱山城などは上田市の土地もあるので、上田市のほうの自助努力も是非お願いしたい。

・ジビエの解体場所の話。それがないのは東信地区だけ。長野市、諏訪、大町にはあり、新たに出来ているところもあるようだ。丸子にも過去計画が実際にあって、立ち消えた経緯もある。場所はともかく、設置できるように研究していくべき。

・ハード中心の魅力アップ応援事業が多いが、ソフトの応援事業もあるべきだ。

・いかに定着して継続性をもたせていくかが重要。

・鹿教湯には既に 5 つの魅力アップ応援事業がある。まとまれば 1 千万円近くの額になる。合わせて別の大きなことができないか。ただ、個々の団体の個性を失わないように。

・継続性にはしっかりとした事務局が必要である。別の会の人員の参加・取入を模索したり、自治会の役の中に組み入れることによって継続性を担保することを考えている団体もある。

・信州国際音楽村公園バラの会の皆さん、「肥料」が大好評であり、金銭的な面も考えるようになったとの話がでた。

・ベルシティまつりの団体では、金銭面で継続が大変。地域のために、頑張ってやっていますとのご意見。

・内村地域では子どもの数が減っている。一方では、長野県は移住希望の上位であることを考えれば、地元が地域の魅力を自覚して発信していくことが必要。

　主に、以上のような意見が出されました。

【第４テーブル発表】

・ボランティアでいろいろな活動をするが、その基本としては、自分で出来ることをするということ。無理をしない。自分が生き生きしながら活動したい。こういう活動でないと長くは続かない。

・情報の共有について。常に定例会を開いて、結果を持ち寄り、皆が情報を共有して、それにより継続していくのがよい。

・丸子太鼓保存会の方からは、これからも継続したいとのこと。現在は女性と子どもしかいないという現状がある。もっと、大人の方にも参加を募りたい。また、子どものグループもこれからつくっていきたい。学校などから求められれば、いつでも参加していく。ご興味がある方は積極的にご参加をいただきたい。

・いろいろな事業を終了したときの継続についてが非常に課題になってくる。時間が経つにつれて興味が薄れ、事業が下火になっていく心配もある。

・倒木の処理の問題が、事業遂行上悩ましい問題だ。資金や、機械、方法の問題など。

・イベントで多くの人を集めるが、その際のトイレが問題になる。
・事業をやっていく中で、後継者がいなくなってくる。高齢化、人口減少。
・応援事業の補助が終了した後の経費問題。
・ネットワーク、情報の共有化について。丸子地域の活動全団体のネットワーク化・情報の共有は出来ないか。
　などの意見がございました。

＜まとめと総括（座長）＞

　皆さん、長時間にわたり熱い想いを論議していただきまして、本当に有難うございました。
　今回、新規の５団体の発表をお聞きしましたときに、最初に感じましたのは、本当にこの活動をされていて楽しいという思いをたいへん受けました。伝統行事を通じて世代間の交流をする。また、地域の商工会の若い店主の皆さんが地域食材を使ってまちおこしをする。そして、地域や世代間をこえた交流の広場を整備することによって、近年多発する災害に対する防災機能も兼ね備える。交流と一緒に、地域のためにもなるという活動。自治会、市民活動団体、機関と一体になり、まちづくりの協働を進めている。そして、上田市唯一の特別景色の良い場所でのバラ園。観光地として、訪れた方々と交流して、癒しの場を提供する。本当にこのわがまち魅力アップ応援事業にふさわしい活動を皆さんなさっていると思いました。
　テーブル討議では、各々の事業が地域の中でどう活かされ、またどう定着して、地域とどうかかわっていくかという点。本当に地域の中になくてはならない必要な活動。そして、かかわり合いの中で、学生さんがいたり、医療の従事者の方がいたり、本当に世代をこえてこの活動が住民を巻き込み、地域に広がっているなと感じました。
　中には、この補助事業だけではどうしても継続できない事業もあります。そんなときにはやはり、ある程度は行政、市や県の補助事業とタイアップしていくしかないという意見も。住民から上に持ち上げていくということで、とても必要な意見でもあります。
　本日、お話を伺って、本当に素晴らしいと思いました。
　また、現在進行中の地方分権についても、近年世界的に推し進められ日本も改革に取り組んでいます。そして、丸子地域でも新しい住民自治組織が設立され、新しいまちづくりが行われようとしています。
　やはり、まちづくりの主役は私たち住民です。よく言われている、「まちづくりは、人づくり。人づくりは、まず自身から」と実施している皆さんがいなければ、まちづくりも形だけのものになってしまいます。知恵を絞り、労力をいとわないこの活動は、まちづくりの財産だと思います。次世代を担う子どもたちへの力強いメッセージです。
　計り知れない地域づくりの情熱の火を消さないためにも、このわがまち魅力アップ応援事業と市民活動団体交流会がますます発展することを私は望みます。そして、点から線そして面への広がりを模索することもまた進めていっていただきたいと思います。
　本日この交流会に携わっていただいた多くの皆様、長時間にわたり本当に有難うございました。